

仲間づくり

生きがいづくり

大好きひたちづくり

シニアライフを

豊かに生きるために

熟年

JNH

熟年ネット・ひたち
(J-net)



新たな十年へ「創立十周年記念セミナー」を開催 —— 当会発展にご支援頂いた方々のご出席のもと「報告会と交流会」を行った ——

去る十二月十一日、ホテル天地閣において「熟年ネット・ひたち」創立十周年を記念し、会員はもとより当会の発展のため陰に陽にご支援を頂いた方々と一般参加者をお招きして、報告会並びに交流会を開催した。ご出席の方々には、当会の足跡、仕組み、活動内容、今後の進め方などについてより深いご理解を頂くと共に、交流を図ることができ、これからの十年に向かって絶好のスタートを切る事が出来た。

(関連写真2ページ)

第一部「J-net 活動報告会」

報告会は、会員である鳥海さんの司会で、掛札代表の挨拶、ご招待者代表のご挨拶、J-net 活動紹介、質疑応答の順に進められた。

ご挨拶

掛札代表世話人の挨拶は、当会が試行錯誤の黎明期を経て創立十周年を迎えられたことに対するお礼に始まり、仲間の和が社会に貢献できるグループに成長させたこと、住みよい街づくりは、理屈よりも行動であり、それは日本最大の人的遊休資源である私達定年退職者の肩にかかっていることなどを述べた。次いで、ご招待者を代表し、日立商工会議所森副会頭と六島百年塾元副本部長のお二方から強いご期待の言葉を頂き、当会の活動は着実に市民活動として浸透している



ことを実感できた。

J-net 活動及び自主活動紹介

活動紹介は創立十周年を機会に編集した冊子「熟年ネット。ひたち」及びプロジェクトを使用して行った。また、会場には参考用として活動内容を掲示した。

一. J-net 活動

「十年の歩み」、「内閣府の社会活動事例に選定」、「活動の基本・仕組み・効果」、「活動体制」について掛札代表から紹介された。

「シニア講座」、「薬習会」、「広報」については、和田、野崎、畑山の各リーダーから紹介があった。

二. 自主グループ活動

現在九つの自主グループが活動している。この中から「ハーモニープレンズ」、「ひたちおもちゃの病院」、「日立のサクラを楽しむ講座」

「グループ・ピエオンの四グループについて鈴木、小林、掛札及び田岡の各グループリーダーから紹介された。

ご挨拶を頂いた森様(上)と六島様(下)及び田岡の各グループリーダーから紹介された。

第二部「交流会」

交流会は畑山副代表の司会で進行された。会友の末松さん、日立市さくらまちづくり市民会議古田土会長、日製日立事業所総務部館岡部長代理にご挨拶を頂いた後、元生涯学習課榎山課長の音頭で乾杯



榎山様の音頭で乾杯

杯が行われ、和やかな雰囲気です宴が進められる中で女性政策課村上課長、日立市社会福祉協議会小室次長からもご挨拶を頂いた。また、鈴木さんのハーモニカと小林さんのオカリナ演奏に合わせて、皆で合唱するなど、J-netならではの盛り上りをみせた。最後に桑名さんの掛け声に合わせ万歳と三本締で締めくくった。

創立十一年目の新年を迎えて

代表世話人 掛札優

新年明けましておめでとございます。昨年四月に会友制度が発足し、六月には本格的な事務所が開設され、九月には内閣府の「社会参加活動事例」に選ばれました。一二月、一〇周年記念報告会は、ご出席いただいた市役所・商工会議所・社協などの方々に活動内容のご理解を頂き一〇年の節目を飾るにふさわしい年となりました。これは当会総合力の成果であり厚く御礼を申し上げます。この成果は「仲間づくり」の成果でもあります。活動から得られる喜びは仲間と響きあって喜びを倍増させ「生きがいづくり」につながっています。更に、私たちの活動に関連する方々にも響き大きな期待となっています。新しい年はどのような年となるのでしょうか！高齢者にもますます厳しい年となることは確実です。

この厳しくなる環境に対して「豊かに生きる」活動は非常に大切です。私たちが行うべき第一は、地域体験が少ない会員の地域学習がスムーズに行える環境づくりをすることです。これは全ての会員が「シニアライフを豊かに生きる」ために重要なことでもあります。

そして地域学習を積んだベテラン組の役割は自主活動などの拡大です。活動の場を広げ会員に伝えることで質と量の拡大につながたいと思います。第二は、各地域活動団体などとの「仲間づくり」です。「仲間づくり」の間は会員のみではありません。第三は、活動の要となる事務局・事務所の機能と活用の充実です。これには全会員の協力が必須です。

当会は会員の自発的な活動によって成り立っています。サムエル・ウルマンの「青春」の心でより楽しい積極的な活動をお願いいたします。最後になりますが、皆さまとご家族のご健康とご多幸を祈念し新年のご挨拶といたします。



創立10周年記念セミナー スナッフ

第一部 活動報告会



司会の鳥海さんと石井さん



講座の報告和田さん



楽習会の報告野崎さん



日立のさくらを楽しむ講座の報告掛札さん



グループ・ピオンの報告田岡さん



ハーモニーフレンズの報告鈴木さん



ひたちおもちゃの病院的報告小林さん



司会の畑山さん 広報の報告も担当



ご挨拶をされる末松さん



ご挨拶を戴いた古田土様



ご挨拶を戴いた館岡様



ご挨拶を戴いた小室様

第二部 交流会



パーティー風景



ご挨拶を戴いた村上様



ご来賓との交流



J-net 音頭を演奏する小林・鈴木さん



交流会のしめ

バードウォッチング (11月11日)

17名の参加を得て小木津山自然公園でバードウォッチングを行った。午前9時日本野鳥の会の多田さんの案内で鳥たちの出会いを楽しみに出発する。途中、ハイキングに来た小学生たち一行の元気な声に鳥たちは圧倒されてか姿・声すらなく静かでした。散策しながらの自然観察と鳥の世界にも文化あるなどの含蓄のある話を伺い、エナガ、シジュウカラ、カラヒワなどの混群に合い、南展望台ではカラヒワが中央園池ではセグロセキレイが歓迎してくれました。森林浴と子供たちの元気を貰い心癒される楽しい一日でした。



楽習会

そば打ち交流会 (12月15日)

女性センターで22名の参加で行った。講師の大森先生の丁寧な説明があり、そばは生き物でその日の湿度によって水加減を違える必要があり奥が深いとのこと。早速手本を見せてくれ、パラパラのそば粉を一つの形に纏めてしまう技は私達J-netの仲間作りに似ているように思います。皆さん待ちきれない様子で早速本番に入り、男性の可愛いエプロン姿で一先懸命にそばを打つ姿は微笑ましく見えました。自分で打ったそばは家に持ち帰り、それぞれの味付けで美味しく召し上がったことと思います。



おもちゃの病院 嬉しい悲鳴が実現した!

11月28日、百年塾フェスタの出張診療は65件の玩具を受け付けた。16人のドクターが休憩を取る暇もなく、4時間ばかりの間にはほぼ昨年の件数に達した。手分けして入院処理した後、本部に5日間の集中診療日を設けて対応したが、10個は持主に申し訳なく年を越した。地域診療体制後に、お客さんが増加。「女性センターまつり」や「ふくしボランティアまつり」の出張診療では「病院」が家庭に浸透して来た手応えを感じていたが、「フェスタ」では当初の予想20~30件を大幅に超え、10月のタウン紙インタビューに応えた話(お客さんが殺到して悲鳴を上げたい)が簡単に実現してしまった。



遠い目標750件/年に向けて、次は講師を招いてドクター養成講座を開講する。先輩の経験を学んで効果的な診療ができる研鑽の場にしたいと考えている。(小林)

ハーモニーフレンズ

昨年11月7日の市民音楽祭は40周年という記念すべき演奏会を、従来の市民会館からシビックセンターに移して行われた。レベルが高いと自称するコーラスの歌声の中で、ハーモニカという器楽演奏で哀愁のある懐かしい曲を演奏したことは、演奏会に新しい風を入れたような気がする。私達の演奏に対して講師から「時々リズムがずれるのを感じさせないのも凄い、ハーモニカのこのような演奏をもっといろいろな人に聴かせたいですね good!!」とのコメントを頂いた。今年はグループ結成10周年でもあり、カッコいいブレザーで気持ちを新たに再スタートをし、老いに負けないように、またいろいろな人たちに聴いてもらうためにも頑張りたい。(鈴木)



グループ・ピニオン

昨年3月に発足して10ヶ月が経過した。[しおさい]利用者の方々とはすっかり顔なじみとなり、近頃では冗談も飛び交うほど親しくなってきた。また、12月13日職員の方々との懇親会が開かれ、初めて話し合う機会を持つことができた。介護職の方達は、デイサービスの場合は、毎日50~60名の利用者を自宅に迎えに行き、また夕方お送りするまで日中実にたくさんの仕事を抱えておられる。思えば、ボランティアの私達とゆっくり話をする時間はほとんど無い。懇親会では、お互いにちょっぴり私的な部分への立ち入りも許してもらいながら、貴重なひと時を過ごすことができた。利用者の方々とだけの交流でよしとせず、職員の方達とも良い関係でありたいと思う。これこそ三位一体ではなからうか。(田岡)

ボランティア・自主活動

仲間づくり・まちづくり

お手伝いグループ「シニアの会」

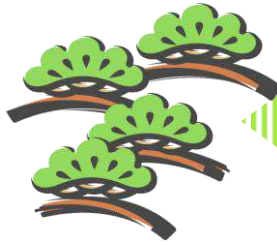
日立ロータリークラブ主催「障害者スポーツ教室」が11月7日(日)8時より好天に恵まれた会瀬グラウンドで行われた。7団体、約100名が参加、競技は3種目。3グループに別れて、茨城県障害者スポーツ指導員のご指導により行った。「シニアの会」の掛札・桑名・渡辺はボッチャに参加した。ボッチャと呼ばれるボールを目標のボールに近づける競技だが、ハプニングの続出で大爆笑の連続、楽しいひと時であった。(掛札)

本の有効活用

第3回を9月30日(木)、第4回を11月25日(木)井戸端会議の時に開催した。2回合わせて提供された本は79冊、お買い上げ頂いた本30冊、更に日用品リサイクルもありました。第4回からは残った本は古本屋さんに出すことにしたが、今回は百年塾フェスタがありましたので其方へ出しました。これからも会員皆様のご協力をお願い致します。(藤崎)

石井和美

2005年 明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。健康に気をつけて笑顔のある日々を過ごしたいです。ピニオンでの出会いを大切に、今年も丁寧なお付き合いを心掛けたいです。



初春

石原政男

「新年の抱負」

古稀を過ぎて七十歳代をスタートしたところで自分を励ます信条がほしいと考えました。結論は「石原政男らしく」ということで「石→意思をはっきりと持つ、しかし石頑固頭は駄目。原→フィールド、外にでよう。環境にやさしく。政→政治(街の活動)に積極参加する。男→おじいちゃんらしく。邪魔にならない大黒柱」

岩本浩

「新たなる人生へ」

波瀾万丈の一年が去り、星空のかなたへ逝ってしまった妻のためにも、今年は災い転じて“福”となるよう、こよなく愛した花の栽培をはじめ、オカリナ、写真、料理の勉強など、心機一転目標に向け頑張っていきたい。

菊池晴子

どんな着地をしましょう？
まだまだ私の旅は空中に浮いてます。
今日はこの場所で皆さんの“思い、考え”を聞こう。
うん、すごい、私には出来ない、感動、真似しよう。
こっちワー、ダメ、難しい、逃げようかなー
こっちワー、アレ、「自」がでてしまう、喋りたい気分になり大いに口の運動、快い疲労感でもネ、泣く痛みもある
そんな時はそーっと涙を流します
明日は晴々しい気持ちになれる様に
そして自分をみつめ、他人の力を借り学んでいく事。
ソレー、飛ぶ準備をしようー。自分の着地探しに。



於曾能富寿子

「新年の抱負」

新年おめでとうございます。この新しい年も健康で様々な行事に参加し、視野を広げたいと思っております。



桑名勇児

「これからの10年」

J-net は10年をかけて素晴らしい仕組みを創りあげて来た。これからの10年はいろいろなことが予想されるが、理想と情熱を持ちつつも、焦らずゆっくりと楽しみながら活動して(生きて)行きたいと思う今日この頃である。

小林眞理子

「日記」

日記を付け始めて6年になる。動機は後5年で定年になるからと5年日記を買う。しかし日記終了前に早期退職。1日を振り返り、頭を刺激し記録する。1年の過ぎるのが速く感じられる。歳に関係があるのだろうか。

小林美津江

「絵手紙」



小林勇作

「今、大切なもの」

昨年はアテネの晴れ舞台と天災があった。人と地震の因果は？でも、台風の襲来は人類のエゴが気象を化えたから。人は被害者であり加害者でもある。しかし大地からは、被害しかないと独り言が静かに聞こえてくる。

田岡静子

「2005年のねがい」

背筋を伸ばそう。肩の力を抜いて胸を張ろう。感動する心、感謝する心を失うまい。

鈴木幸子

10周年記念報告会に出席して、改めてJ-netの素晴らしさを知る事が出来ました。このような楽しい会があることを一人でも多くの方に知って頂き、益々大きな大きな輪が出来ればと思いました。これからも宜しくお願い致します。

鈴木重四郎

「2005年の抱負」

昨年はJ-net十周年で何かと有意義な年であった。今年はハーモニーフレンズ結成十周年になる。新たな気持ちで再スタートしようと思っている。カッコいいブレザーを作って着飾り頑張りたい。



谷藤金雄

「NSは面白い」

昨年、ニュースポーツ同好会を立ち上げました。やってみるとこれがまた面白い。人を小馬鹿にしたようなボールを転がす時の一瞬の集中力、あれが何とも言えない。また最大限リラックスできる事が何よりです。多くの参加、期待します。

の 声



土屋昭夫 「新年に思う」

あっという間に1年が過ぎ、昨年の成果は何だったろう。大したことはできなかったと反省ばかり。さて今年は何を目標にするか。あまり大げさなことは考えないで小さなことを着実にやることを心がけたい。

栃澤森二

「もはや、できあいの思想・宗教・学問には倚りかかりたくない、いかなる権威にも、じぶんの耳目・二本足のみで立っていて、なに不都合のことやある」(茨木の子詩集より抜書き)。残りの生き方はかくありたい。

富田滋男 「今年の抱負」

パソコンや、おもちゃの病院、又観光資源調査等で、お役に立つことを実践しながら、自分も勉強し、実力をつけ、健康第一で喜んでもらえる活動をしたい。又、嫌いな分野にも挑戦していきたい。

鳥海良子

「温新知故」最近は、このような言われ方もしているようです。新しい物に出会う事の多いこの頃ですが、生活、環境、その他もろもろの変化に、昔の良さ、自然な生き方を改めてみつめなおしたい。そんな思いを抱えています。

畑山和子

あるがままの自分を受け入れること、そしてそこから一步の努力。
あるがままの周囲を受け入れること、そして共に感動できれば幸せ。

平田順一

「おもちゃドクター」

今年はおもちゃの病院の認知度が一層高まり、患者数の急増が見込まれるので、多くの診療経験を積み重ねて技術レベルの向上に努めたい。的確な治療ができた時、子供たちと共に喜びを分かち合えることが何よりです。



平田恵美子 「新年の抱負」

継続は力なりと言いますので、今まで勉強やボランティアをして来たことをこれからも続けて行きたいと思っております。そのために、今の体力の維持と健康に気をつけ、感謝の心、奉仕の心も忘れないで前に進みたいと思っております。

藤本欣正

年男の課題、女性センター友の会20周年記念誌の編纂。おもちゃドクターの講習を受けて技量の向上に努力したい。旧年は6件手がけたおもちゃの修理、何れも機能回復出来た。更に多くの子供の笑顔が見られるように。

福田常実

昨年の暮、気象庁は年平均気温が観測史上最高と発表した。11月になると街ではクリスマス電飾が灯される。この省エネ時代に12月の半ばでも良いのでは。温暖化、資源枯渇等次世代の事をもっと真剣に考えよう。

山本三男 「山歩き」

何で苦勞して山に登るのか？の疑問を持ちつつ友達の誘いで5年前に登る羽目に。山の魅力はやはり眺望だろうか？少し高い山に登ると雲の切れ目からの太陽がさすさま等は感動。花、紅葉もたまらない。歩ける迄続けよう。



渡辺愛子

60才になったらどのように日々暮らしていこうか？安藤勝さんより「面白い会があるよ」と・・・何歳になってもワクワク生き生きと人生を送りたい！好奇心一杯で入会しました。宜しくお願い致します。

和田克夫

長編小説を読破した。コーンウエルの「アーサー王物語」3部作である。最近根気が続かなくなり悲観していたが、ちょっぴり充実感を得られた。新しい年にはもっと難しいことに挑戦して充実感を深めたい。

辻末夫 「架空請求詐欺に注意」

「電子消費料金未納分最終通達書」と書かれた葉書が届き、大至急東京債権KKに御連絡下さいとのこと。「連絡がない場合は裁判所へ出廷」と書いてあり、さらに、「支払いに応じなければ給料差し押さえ・・・等」と続く。まったく身に覚えのないことでびっくりしたが、よく読んでみると不審な点が多々あった。「最終通告」とあるが一度も未納請

求書が届いた事がない、「債権譲渡を受けた」とあるが債権譲渡をしたとの通知も着いていない、金額が入っていない、相手に考える時間を与えないといった日時設定等々。
町内何軒かに同じハガキが配達されており、架空請求と判断し消費生活センターに届けた。皆さんも気をつけてください。





インフォメーション



楽習会 (1~3月)

楽習会の今後の予定をお知らせします。

月日	楽習テーマ	場所
1/13	悪徳商法にだまされない 振り込め詐欺や架空請求など 最近の事例とその対策	女性 センター
1/27	井戸端会議ー第5回 身近な話題を楽しく話そう テーマ募集中⇒担当者まで	女性 センター
2/10	日立電鉄・電車沿線の旅 沿線の風景を楽しみながら 日立電鉄線にお別れを	鮎川～ 常陸太田
2/24	皆で考えよう J-net J-net の発展と前進するために 次年度の新しい企画を求めて	女性 センター
3/10	自主テーマ テーマを募集しています 提案は楽習会担当者まで	未定
3/24	井戸端会議ー第6回 より多くの仲間づくりに向けて 次年度の活動を話し合う	女性 センター

おもちゃドクター養成講座参加者募集

おもちゃドクターを目指す人を対象に、おもちゃ病院連絡協議会の公式基礎講座を開催します。

- 1) 日 時：平成17年2月2日 13時～16時
2月3日 10時～16時
- 2) 場 所：日立市 女性センター
- 3) 講 師：おもちゃ病院連絡協議会 専任講師
- 4) 対象者：おもちゃの修理に関心のある方
- 5) 募集人員：25名
- 6) 参加費：4,000円(材料費、弁当代を含む)
- 7) 内 容：活動状況、故障診断、補修用部材等
- 8) 申込先：J-net 事務所…FAXまたはハガキで
問い合わせ先：小林 (TEL0294-34-0614)

パソコン研究会 (パソ研)

前回までワードの簡単な応用を学びました。今後の予定をお知らせします。

- ・開催日：1月(8,22日)、2月(12,26日)、
3月(12,26日)
- ・内 容：1月 Excel (表の作成、表計算、グラフ)
2～3月 画像処理 (ペイント、画像編集)

【編集後記】

茶や能などの先達には「初心にかえる」という意味の言葉が多い。大成してもその道に踏みこんだときの志を忘れるなということか。

J-net も設立10周年を迎えた。この間いろいろと実績も積み、外部からの評価も高まりつつある。こんな時こそ設立時や入会時の目的を再認識し、原点を忘れないようにしたい。時代の流れに沿って軌道修正することはもちろん必要なことではあるが。(編集子)

リレー随筆

「活動の充実に向けて」

尾沼 信義

J-net は10周年を迎え、着々とその地歩を固めていることは大変嬉しいことです。

特に昨年は、国にその活動が認められて「社会参加活動事例」に選ばれ、内閣官房長官名の書状を授与されたことは大きなものがあります。これは、社会的にも市民権を得たことになり、世間からも今まで以上に注目されることになるでしょう。それだけに社会に対する責任もますます重くなってきます。日立再発見やおもちゃの病院など市民の皆さんが期待している活動を更に充実していきたいものだと考えます。

しかし、かくいう私は解ったようなことを書きましたが J-net に入って未だ3年、それを言い訳にして少しも貢献などしていないので恥かしい思いです。

今年こそは、活動の手足となって動き、そして「日立を理想郷にしたい」とのあの日鉦創業社長久原房之助さんの心意気に少しでも近づくことを目標にして頑張りたいものだと考えています。

自主活動グループから

J-net ではいろいろな自主活動グループが活躍しているが、各グループともに多くの新しい仲間が加わることを期待しています(詳細は各問い合せ先へ)。

■お手伝いグループ「シニアの会」

- ・社会福祉ボランティア活動とその支援
- ・活動は不定期、必要に応じて
- ・問い合せ先 掛札 (TEL0294-53-7105)

■熟年ボランティア“ひたちおもちゃの病院”

- ・こわれた玩具の故障診断と修理
- ・病院開設日 毎週火曜日
- ・問い合せ先 小林 (TEL0294-34-0614)

■グループ“ピニオン”

- ・介護老人施設の利用者の方々話し相手
- ・毎週水曜日の午前中
- ・問い合せ先 田岡 (TEL0294-37-2669)

■ニュースポーツ同好会

- ・簡単な用具でプレイを楽しむスポーツ
- ・毎月第2日曜日の午後「宮田ふれあいプラザ」
- ・問い合せ先 谷藤 (TEL0294-44-0207)



発行：熟年ネット・ひたち
代表世話人 掛札 優

編集：広報委員会

住所：〒317-0072

日立市弁天町2-12-10

Tel/Fax：0294-21-1345

E-mail：j-neth@lapis.plala.or.jp

http://www10.plala.or.jp/j-neth/